

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成29年7月28日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、私の方から、お手元の広報日程に基づきまして補足説明を申し上げます。

まず、1点目、1ページ目の下の方、7月28日、(1)の審査会合でございます。議題として、地震、津波及び火山、北海道電力株式会社と中国電力株式会社と記載してございます。北海道電力につきましては、泊第3発電所の敷地周辺の活断層評価、この点につきまして、コメントへの回答を受けるということ。また、あわせまして、これに対応いたします地震動につきまして、説明を聞くということをご予定してございます。中国電力につきましては、島根第2発電所につきまして、敷地周辺の活断層評価につきまして、コメントへの回答を受けるということをご予定してございます。

続きまして、2ページ目、8月2日、(7)の項目でございます。第10回検査制度の見直しに関するワーキンググループでございます。御案内のように、前国会での法改正によりまして、検査制度の見直しが規定されたところでありまして、このワーキンググループは、その具体的方法について、検討を行ってきているというものでございます。

今回の議題は3点でございます。議題1におきまして、事業者の保安活動全般に関する要求事項について議論し、また、議題2におきまして、原子力規制庁が行います検査の内容について、議論を行う予定でございます。また、議題3におきまして、フリーアクセスに対する事業者としての対応についてお聞きし、議論をするということをご予定してございます。

なお、議題2にございますIPといいますのは「Inspection procedures」の略ということでございまして、いわゆる検査要領のことを意味してございます。

続きまして、3ページ目でございます。8月4日、(11)の核燃料施設等に関する審査会合でございます。議題が2点ございます。

1点目は、原子力機構の廃棄物管理施設、大洗の施設でございますが、その新規制基準に対する適合性についてということでございます。内容といたしましては、これまで一通り審査が進んできておりますが、その中で確認が必要となった事項といたしまして、竜巻などへの対応につきまして、事業者から説明を聞くということをご予定してござい

す。

議題の2は、日本原電株式会社の廃棄物埋設施設、東海の施設でございますけれども、その事業許可申請に係る審査についてでございます。こちらにつきましても、審査を進める中で確認が必要となった事項といたしまして、自然事象などの外部事象の選定の考え方につきましても、事業者から説明をお聞きし、議論をするということを予定してございます。

私からは以上でございます。

<質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けしたいと思います。いつものとおり、所属とお名前をおっしゃってから質問の方をお願いします。

それでは、質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。では、スミさん。

○記者 共同通信のスミです。よろしくお願いします。

田中委員長が昨日、今日と柏崎刈羽原発で視察していらっしゃると思うのですけれども、昨日、現地でもブリーフはあったと思うのですが、田中委員長の昨日の時点の感触とか反応というのは入っていらっしゃると思うのですけれども、どんなものだったのでしょうか。

○大熊総務課長 今お話がありましたように、田中委員長、柏崎刈羽、現地で安全意識について調査を行っているところでございます。まだ現地での調査は終わっておりません。続いているところでございますので、今の段階で私の方から申し上げられることというのは、内容についてはございませんけれども、スケジュールどおりに進んでいるということで聞いているところでございます。

予定ですと、今、所長との面談が行われているのではないかと思いますし、この後、15時半から現地でぶら下がり取材が予定されていますので、そこで何らかの委員長の感触・感想というものが述べられるものと思います。そちらを是非お聞きいただきたいと存じます。

○記者 これを受けて、8月2日の規制委員会の方で、今、議題調整中となっておりますけれども、テーマの一つに上がるというふうに考えていいのでしょうか。

○大熊総務課長 そこも今回の調査を終えて、委員長のお考え、御判断というところによるところが大きいわけですが、現時点で調査を行ったので、議題に上るということも予定しているということとはございません。

○司会 ほかに御質問はありますか。

○記者 電気新聞のコンドウですが、8月4日の1F訪問の目的、更田さんと山中さんの目的を教えてください。

○大熊総務課長 こちらは、ここしばらく各委員が様々な施設を訪問して、視察・調査を

行っているところでございます。国会も閉会中である時期、時間のあるときに様々な施設をできるだけ最新の状況を見ておこうということで、各委員が手分けをしながらいろいろ回っている。その一環ということでございます。1Fの現状を見てくるということでございます。

○記者 山中さんが入っているのは、何か特段理由はあるのですかね。

○大熊総務課長 特段と申し上げるべきかどうか分かりませんが、委員就任が予定されておりますので、その前に福島第一を実際に見ておこうというお考えがあるのではないかというふうに考えます。

○記者 ありがとうございます。

○司会 ほかに御質問はありますでしょうか。

では、ないようですので、これをもちましてブリーフィングを終了させていただきたいと思います。どうもお疲れさまでした。

—了—